

購読の申し込みは
日本医労連へ

購読料 年間1,500円(送料込)
(組合員の購読料は組合費に含む)

送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296
郵便振替00160-6-84866

ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>
電子メール n-ask@irouren.or.jp

医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

1736号・1737号合併号
2020年8月13日

編集・発行
日本医療労働組合連合会
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
日本医療労働会館3階 TEL03(3875)5871

発行 毎月2・4木曜日

(昭和36年9月15日第三種郵便物認可)

「原判決(地裁判決)を破棄する。被告人は無罪」――東京高裁で争われていた「あずみの里業務上過失致死事件」の公判が7月28日開かれ、判決が言いわたされました。定

無罪確定 特養「あずみ の里」裁判

「原判決(地裁判決)を破棄する。被告人は無罪」――東京高裁で争われていた「あずみの里業務上過失致死事件」の公判が7月28日開かれ、判決が言いわたされました。定

「現場を委縮させないために」と全国の仲間が力かちとった「無罪」です。



日本医労連第70回定期大会

第70回定期大会は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、メイン会場(日本医療労働会館)と各代議員をWEBでつなげ、通常よりも日程を圧縮して短時間での開催となりました。そのため、役員選挙および産別統一スト権の投票は事前に郵送で行い、発言も文書発言を原則として事前の提出をお願いしました。また、代議員は委任制を採用。YouTubeで配信も行い傍聴も可能となりました。

大会は日高琢二副執行委員長が開会を宣言し、議長に細見学代議員(東京)、議事運営・資格審査委員に浅山麻実代議員(全労連)を選出して議事がすすめられました。

中央執行委員会を代表して

森田しのぶ執行委員長があいさつ(要旨は2面)。冒頭、全国を襲った豪雨で被災された方々へお悔やみとお見舞いを申し上げるとともに、多発する自然災害に対する施策の強化を自治体や政府に要請する取り組みの重要性を強調しました。また森田委員長は、「社会保障の課題」「働き続けれられる職場づくり」「組織の拡大強化」の3点の課題に触れ、「国民のいのち・人権が守られ、憲法が活かされ、誰もが人間らしく誇りを持って働き続けられる職場・社会をめざし引き続き奮闘しましょう」と訴えました。

事前に提出された文書発言は29組織から39本。寄せられた意見・要望を踏まえ、森田

進書記長が中間答弁を行い、課題ごとに発言主旨を紹介しながら「コロナ禍の困難な状況に打ち克つ取り組みをすすめるなら、現時点までに蓄積した経験や教訓を、今後に生かしていくことが本場に重要」「これまでの要求と運動方針は、国民の大多数が共感をもって受け止めている。私たちの思いに共感する国民がこんなにも多くいたことに改めて確信を持ち、この好機を政

7月28日、日本医労連は「第70回定期大会」を開催しました。新型コロナウイルス感染が拡大するなか全国から一同に会し宿泊を伴う大会を平常通り開催することは困難と判断、「Webを活用して短時間で」という異例の開催となりました。「いのち署名」を軸に、これまで粘り強く取り組んできた諸課題とともに、医療・介護の提供体制のせい弱さを立て直し、国民のいのちと健康を守るために全力をあげる2020年度運動方針を決定しました。

「いのち署名」軸にたたかう 20年度運動方針を確立 かならず増勢に転じ、20万医労連へ踏みだそう

最後に高橋勝行副委員長が閉会のあいさつ。森田委員長のリードによる「団結がんばろう」で終了しました。

採決結果

- 20年度運動方針案―可決
- 20年度予算案―可決
- 20秋闘産別スト権―確立(賛成175反対1白票1)
- 19年度会計決算・監査報告―承認
- 共済事業方針案・予算案―承認

7月28日、東京高裁前で「あずみの里業務上過失致死事件」の公判が行われ、被告人は無罪と判決されました。この判決は、全国の仲間が力かちとった「無罪」です。

新事務局長に
黒澤幸一さん

事務局長に日本医労連の黒澤幸一さんが就任したほか、副議長に森田委員長、幹事に森田書記長、原中執が選出されました。

2020年7月豪雨により被災された皆さんに
お見舞い申し上げます
災害支援募金にご協力ください

結成！ トラストクリニックユニオン

コロナ禍の一方的な 賃下げに医師が団結

コロナ禍の中、収益確保に頑張ってきたのに「一方的な年俸カットの提案。これを受けて、7月6日、愛知県医師会連で医師集団の労働組合「名古屋トラストクリニックユニオン」が結成されました。

結成大会は勤務医5人が参加し、ストライキ権を確立。安心して働けるクリニックをつくるために「団結して(なろう)」と意思統一しました。「年俸カットは撤回されたがこれも」

7月7日に結成通知と要求書を提出し、要求書の根拠を説明。文書回答と団体交渉の開催を求め、理事会は持ち帰って対応していくとしました。

北海道医師会連、道内介護事業所アンケート結果を踏まえ、札幌市、北海道、政府へ要望書を提出します。介護崩壊が起きないために、現実場態を根拠をもって伝え政策を打つためにも協力します。

(北海道・田村 優実)

4〜5月の休業しましたがまたコロナ感が増えて来ましたが、イヤな感じがするアベ内閣の無策にはもどろきです。新結成された神奈川十愛



北海道医師会連、道内介護事業所アンケート結果を踏まえ、札幌市、北海道、政府へ要望書を提出します。介護崩壊が起きないために、現実場態を根拠をもって伝え政策を打つためにも協力します。

(北海道・田村 優実)

4〜5月の休業しましたがまたコロナ感が増えて来ましたが、イヤな感じがするアベ内閣の無策にはもどろきです。新結成された神奈川十愛

ザ★クロスワード

出題 モロズミ勝

1	2	3	4	5	6
7		8		9	B
10			11		
12	E	13	C	14	
15		16		17	
	18		19		
21	22		23	F	
24		D			

答

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

タテのカギ

1 夏の代表的な果実

2 生後四週間までの赤ちゃん

3 目……シャドー

4 騒音 雑音

5 着物の下の模様

6 細菌から作った感染症予防の薬剤

7 細菌から作った感染症予防の薬剤

8 中や高校の……

9 乙な味 山海の……

10 壁に描いた絵

11 赤ん坊を運ぶための鳥

12 奉仕……精神

13 銀行などに預けたお金

14 詳細に調べて選ぶこと

15 幅の狭道

16 灯……天文……

17 天

18 天

19 天

20 天

21 天

22 天

23 天

24 天

25 天

2020年7月豪雨災害
カンパと調査のお願い

7月3日に熊本県を中心に九州南部を襲った2020年7月豪雨災害は、大規模停電・断水、道路が寸断されるなど重大な被害が広がり、長期化の様相を呈しています。

被害は甚大であり、日本医師連として発250号(7月14日付)において被災者救済力パをお願いしているところです。加盟組織の協力を要しております。

※通信欄に「2020年7月豪雨災害、すぐには被害状況の把握が困難かとありますが、引き続き被災状況の把握に努め、被災状況の把握がで

総括答弁

森田進書記長

秋間・年末一時金のたかについて、コロナ禍による医療・介護への経済的影響を危惧しています。そうならないための運動として、経済的支援を各県に求めたいと思ひます。そして、新型コロナウイルス感染拡大の影響を見極めながら、差別統一闘争の強化・結果を

たかについて、観点から、ストライキ戦術も含め、議論していきたいと思ひます。

財政問題について意見がないため、組織財政検討委員会の答申に基づいて、取り組強化を要請していきたい、具体的な提議について、中核で検討していきたいと思ひます。

組織拡大・強化について、青年、女性も含めて、工夫をこらしながらの取り組みが検討されています。SNSの活用も含めて、本部でも検討していきたいと思ひます。

最後に、本日、特選「あずみの里」事件の控訴審で、逆転無罪判決を勝ち取りました。大勢の仲間を支援を

【国民のこのあつめ】

新型コロナウイルス感染拡大とのかたは、項目を別に設けて強調した方がよいという意見がありますが、コロナ禍における問題と安倍政権のすめきた国民生活を顧みない政治の在り方とは切っても切り離せない問題であるため、いんと平和を守る政治の実現の中に位置付けて強調しました。

京都からの発言にもあるよう

【賃金闘争】

コロナ禍での20春闘という困難な中でも、工夫をしながら、差別統一闘争の結集を念頭に置いて運動をすすめた組織では、大きな進歩がいくつかあり、今まさに、医療差別が一つになって取り組むことの重要性が明らかになっています。引き続き、差別結集をキーワードにして取り組むを進めていきたいと思います。

全国一律最賃制度実現の必要性は多方面に及びました。医

424問題について。一方的「再検討リスト」発表から、あつという間に運動が広が、事実上、棚上げされました。今運動しているメンバー、最賃について、福島から一歩踏み出したところですが、運動が進む、打ては賛同と確信をもったという文書発言

これまでの運動に確信もち 産別結果で 要求前進



【憲法・平和】

秋田と山口から、イシジアショア配備中止に関する発言がありました。まさに私たちの運動が国民世論と結びついて政治を動かしたと感じます。検察庁法改正案を廃案させたのもそうですが、暴走を続けてきた安倍政治に対し、今や多数の国民が「NO」を突きつけています。

大切なのは、このような世論の変化は、「安倍政治を許さない」と地道に賛同者を広げてきた私たちの運動の成果によることです。大きな確信を持つことが、大きな運動をすすめる上で、学習は欠かせません。北海道からの発言にもある通り、この機を活用して学習推進にも旺盛に取り組ましよう。

【増員】

コロナ禍であつたため表出、多くの国民の認識にもなつた、医療や介護現場の人手不足と過重労働に対し、この機に大々運動を前にすすめて、要求実現をめざす必要があります。国が押し付けようとしている医師や看護師の需給推計について、その考え方の根拠にある地域医療構想は、今回のような有事を想定していない計画であり、見直しが必要であることを政府自らも認めています。有事に備えた人的体制の考え方も今後需給推計に盛り込むべきです。また、介護労働者の処遇改善では、北海道から発言がありました。私たちの運動で勝ち取り

【組織拡大強化】

金労連総が先行行動にエントリーした愛知はじめ、東京、滋賀、北海道などの積極的な取り組みが全体の教訓となりました。残念ながら、今回は組織減となつていますが、コロナ禍からこそ組合がでべきという事例も生まれています。ます

【産別結果】

第70回定期大会第1号議案と第2号議案に関する質疑や意見については、今回、事前発言をお願いし、39本(内1本は発言通告期間締め切り後の発言が寄せられました文書発言集参照)。いただいた発言、ご意見をもとにした中間答弁(要旨)を掲載します。

【賃金闘争】

賃金闘争については、3分の1の組合に前年実績割れの回答が示されました。このまま経営状況の悪化が続けば、年末一時金はさらに厳しい回答が出される危険性があります。政府に対して、さらに大規模な財政支援を医療介護の分野に行うべきとの動きを強く促していくこと併せて、年末一時金交渉に向けての意思統一を進めていきたいと思います。

【社保闘争】

公立・公的病院の再編・統合問題(以下、424問題)については、多くの組織から地域での運動推進の取り組みが発言されました。運動の最中に新型コロナウイルス感染が拡大したことも影響していますが、政府は再検討リスト撤回をしない、全国の全国的に地域住民を巻き込んだ広範囲にわたる再検証期限を設けざるを得ないことも迫り込みました。中央の424共同行動は、今後あり方を踏まえて強化して位置付ける検討もしています。

【産別結果】

第70回定期大会第1号議案と第2号議案に関する質疑や意見については、今回、事前発言をお願いし、39本(内1本は発言通告期間締め切り後の発言が寄せられました文書発言集参照)。いただいた発言、ご意見をもとにした中間答弁(要旨)を掲載します。

【賃金闘争】

賃金闘争については、3分の1の組合に前年実績割れの回答が示されました。このまま経営状況の悪化が続けば、年末一時金はさらに厳しい回答が出される危険性があります。政府に対して、さらに大規模な財政支援を医療介護の分野に行うべきとの動きを強く促していくこと併せて、年末一時金交渉に向けての意思統一を進めていきたいと思います。

【社保闘争】

公立・公的病院の再編・統合問題(以下、424問題)については、多くの組織から地域での運動推進の取り組みが発言されました。運動の最中に新型コロナウイルス感染が拡大したことも影響していますが、政府は再検討リスト撤回をしない、全国の全国的に地域住民を巻き込んだ広範囲にわたる再検証期限を設けざるを得ないことも迫り込みました。中央の424共同行動は、今後あり方を踏まえて強化して位置付ける検討もしています。

【運動に確信をもつて】

コロナ禍の困難な状況は、残念ながら進行形で打ち克つていない。困難な状況ながら、現時点までに蓄積した経験や教訓を、今後に生かしていくことが本誌に重要だと感じています。今回明らかになったのは、私たちが学習と討議、意思統一を積み重ねた上で掲げてきたこれまでの要求と運動方針は、国民の大多数が共感をもって受け止める運動や要求であること、ということ。私たちが求めるものや進んでいく道筋に間違いはない。私たちが国民の思いに共感する国民がこんなに多くいたことに改めて確信を持ち、この好機を政治革新につなげるよう、さらに大きな運動をすすめていきたいと思います。

【運動に確信をもつて】

コロナ禍の困難な状況は、残念ながら進行形で打ち克つていない。困難な状況ながら、現時点までに蓄積した経験や教訓を、今後に生かしていくことが本誌に重要だと感じています。今回明らかになったのは、私たちが学習と討議、意思統一を積み重ねた上で掲げてきたこれまでの要求と運動方針は、国民の大多数が共感をもって受け止める運動や要求であること、ということ。私たちが求めるものや進んでいく道筋に間違いはない。私たちが国民の思いに共感する国民がこんなに多くいたことに改めて確信を持ち、この好機を政治革新につなげるよう、さらに大きな運動をすすめていきたいと思います。

よくお願いします

20年度中央執行委員



中央副執行委員長
鎌倉 幸孝
長野・再



中央副執行委員長
高橋 勝行
福島・再



中央副執行委員長
吉田 岳彦
北海道・新



中央副執行委員長
花澤 直樹
全厚労・新



中央副執行委員長
佐々木悦子
全医労・再



中央執行委員長
森田しのぶ
全日赤・再



中央執行委員
松田加寿美
北海道・再



中央執行委員
油石 博敬
北海道・再



中央執行委員
菅原 忠
全労災・再



中央執行委員
中村 健一
全日赤・再



中央執行委員
松尾 晃
全厚労・再



中央執行委員
桶谷 努
全医労・新



書記次長
米沢 哲
東京・再



書記次長
内田 博之
山梨・再



書記長
森田 進
東京・再



中央執行委員
森本 忠春
岡山・再



中央執行委員
坂田 政春
京都・新



中央執行委員
林 信悟
愛知・再



中央執行委員
原 英彦
愛知・再



中央執行委員
寺田 雄
東京・再



中央執行委員
青山 光
東京・再



中央執行委員
柏木 哲哉
神奈川・再



中央執行委員
渡辺 勇仁
山形・再



中央執行委員
黒澤 幸一
北海道・再



会計監査委員
藤田 省吾
埼玉・新



会計監査委員
畑中 剛喜
全厚労・新



会計監査委員
森川 息吹
全医労・新



中央執行委員
五十嵐建一
書記局・再



中央執行委員
山口 一秀
書記局・再



中央執行委員
寺園 通江
書記局・再



中央執行委員
川上 真理
鹿児島・再



中央執行委員
田中 直光
熊本・再



中央執行委員
井上 純
徳島・再

――選出された20年度役員のみなさん――
(敬称略)

32期共済運営委員

監事

役職
運営委員長
副委員長
事務局次長
事務局次長
運営委員

氏名
森田しのぶ
森田進
内田博之
寺園通江
玉村美子
岡野学
山口早苗
金子昌仁
浅山麻実
坂本諭
松坂金浩
永島達哉
新保京子
門本泰之
藤本健
三木千津子
池田勝久
中島良子
荒木友里
清水浩介

選出組織および役職
日本医労連中央執行委員長
日本医労連書記長
日本医労連書記次長
日本医労連中央執行委員
日本医労連中央執行委員
全厚労書記次長
全日赤書記次長
全JCHO病院労組書記次長
全労災書記長
北海道医労連書記次長
秋田県医労連書記長
千葉県医労連書記長
富山県医労連書記長
兵庫県医労連書記長
広島県医労連書記長
徳島県生協労組執行委員
鹿児島県医労連書記長
国共労組書記長
新潟県医労連書記次長
東京医労連書記次長

ありがとうございます。

大会に寄せられた
連帯の
メッセージ

20年度の顧問3名
松本隆浩(退任時：副委員長)
三浦宜子(退任時：副委員長)
温井伸二(退任時：書記次長)

2020年度
顧問の委嘱

玉村美子(全医労)
河野昌晃(全日赤)
佐藤英昭(和歌山)
井樋口美香子(沖縄)

2020年度
選挙管理委員

全米看護師連盟(NNU)からのメッセージ

親愛なる 森田しのぶ委員長

米国最大の看護師連盟である全米看護師連盟(NNU)を代表して、第70回日本医療労働組合連合会の定期大会開催へのご挨拶を申し上げます。

全米看護師連盟は、日本、米国、および世界中で、ヘルスケアシステムと看護師の労働条件を大幅に改善するために、日本医労連と協力しています。世界的なパンデミックの際、病院の備品、検査、政府の支援、感染症や災害に効果的に対応できる医療システムに対する日本医労連の対応を特に称賛します。人命と健康を優先し、強力な医療従事者の組合を構築する事に努力する貴労組に心から賛同します。

この間、COVID-19のパンデミックは、私たちの国や世界中の人々の命を脅かし、命を落とす等、困難な日が続いています。私たちは、病人を助けることと看護師に最高レベルの保護を要求することによって、その蔓延を止めることを目標を日本医労連と共有します。この世界的なパンデミックの最前線にいる各国の看護師や他の医療従事者が守られない限り COVID-19を止めることはできません。米国を含む多くの国の看護師は、自分たちの生命、患者の生命が消耗品であるかのように扱われてきました。今すぐに行動を求めるために、私たちの地域社会と世界的な連帯の中で一緒に立ちあがりましょう。

世界的なパンデミックは、世界の人々の相互依存を明らかに示しています。世界的な不均衡な行動では、パンデミックを止めることはできないことを私たちは知っています。すべての国が、連帯をし、力を合わせて対応する必要があります。共に闘っていきましょう。

政府とWHOは、COVID-19患者のケアと病気の蔓延を防ぐための必要なことについて、看護師や他の第一線の医療従事者に耳を傾ける必要があります。最前線の医療従事者に耳を傾けることに失敗したことで、非常に多くの国で惨事が発生しました。悲しいことに、これ以上の積極的な行動をしなければ、ウイルスの急増は更に続くでしょう。

同様に、看護師組合も相互支援と連帯のために、また国際舞台で声を一つにするために、協力が必要です。全米看護師連盟は、我々の看護師、患者、そして地域社会のために、日本医労連と一緒に働き続けることを楽しみにしています。

連帯を込めて
執行委員長 ゼニス・コート

退任された役員

で苦労さま

(敬称略)

副委員長
日高 琢一

執行委員
五十嵐久美子

執行委員
瀧川 聡

副委員長
三浦 宜子

執行委員
村上 眞一

会計監査
高橋ただし

書記次長
温井 伸二

執行委員
石堂 吉輝

会計監査
鮫島 彰

